

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【公表番号】特表2011-503203(P2011-503203A)
 【公表日】平成23年1月27日(2011.1.27)
 【年通号数】公開・登録公報2011-004
 【出願番号】特願2010-534210(P2010-534210)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/385

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 35/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月11日(2011.11.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

宿主動物を治療して病原性細胞を除去するためのハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体であって、前記ハプテン-担体接合体による前記治療の第1のサイクル中にリガンド-ハプテン接合体の投与が開始できることを特徴とする、ハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体。

【請求項2】

請求項1に記載のハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体において、前記 T_H -1 偏向化アジュバントに対する前記ハプテン-担体接合体の比率が重量対重量基準で約1:10から約1:1の範囲であることを特徴とする、ハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体。

【請求項3】

請求項1又は2に記載のハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体において、前記病原性細胞が癌細胞であることを特徴とする、ハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体。

【請求項4】

請求項1ないし3のいずれか1項に記載のハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体において、前記ハプテン-担体接合体による治療の第1週に、又は、それ以降であって前記ハプテン-担体接合体による前記治療の第1のサイクルが完了する前に、前記リガンド-ハプテン接合体の投与を開始できることを特徴とする、ハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジュバント、及びリガンド-ハプテン接合体。

【請求項5】

請求項1ないし4のいずれか1項に記載のハプテン-担体接合体、 T_H -1 偏向化アジ

ユバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、該リガンドが、葉酸及び他の葉酸受容体に結合するリガンドからなる群より選択されることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 6】

請求項 1 ないし 5 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、該ハプテンが分子量 20,000 ダルトン未満の有機分子であることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 7】

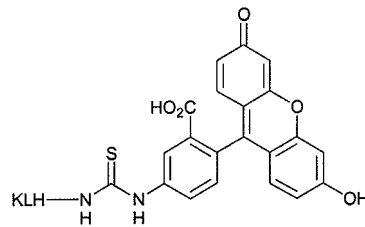
請求項 1 ないし 6 のいずれかに記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、免疫刺激剤が前記宿主動物に投与できることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 8】

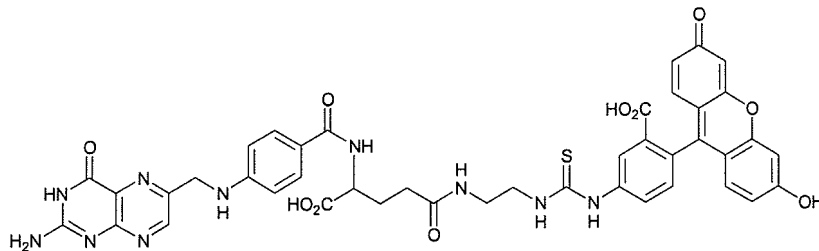
請求項 1 ないし 7 のいずれかに記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、該アジュバントがキラヤサポニンアジュバントであることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、前記ハプテン - 担体接合体が式：



で表され、KLH がキーホールリンペットヘモシニアンであり、前記リガンド - ハプテン接合体が式：



又はその薬学的に許容可能な塩で表されることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 10】

請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、該リガンドは、グルタミル部位が前記リガンドのグルタミル - カルボキシル部位のみを介して該ハプテンに共有結合される葉酸類似体であることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 11】

請求項 1 ないし 8 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、該リガンドは、グルタミル部位が前記リガンドのグルタミル - カルボキシル部位のみを介して該ハプテンに共有結合される

葉酸類似体であることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 1 2】

請求項 1 ないし 8、又は 1 0 若しくは 1 1 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、該ハプテンがフルオレセイン、ニトロフェニル又はポリニトロフェニルであることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 1 3】

請求項 7 ないし 1 2 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、前記免疫刺激剤がサイトカインであり、当該サイトカインが IFN - 又は IFN - と組み合わせた、IL - 2、IL - 1 2、IL - 1 5 又はこれらの組み合わせを含むことを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 1 4】

請求項 1 ないし 1 3 のいずれか 1 項に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、前記アジュバントが修飾されたサポニンアジュバントであることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 1 5】

請求項 1 4 に記載のハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体において、前記アジュバントが GPI - 0 1 0 0 であることを特徴とする、ハプテン - 担体接合体、 T_H - 1 偏向化アジュバント、及びリガンド - ハプテン接合体。

【請求項 1 6】

ハプテン - 担体接合体と T_H - 1 偏向化アジュバントを含む組成物であって、前記 T_H - 1 偏向化アジュバントに対する前記ハプテン - 担体接合体の比率が重量対重量基準で約 1 : 1 0 から約 1 : 1 の範囲であることを特徴とする組成物。

【請求項 1 7】

請求項 1 6 に記載の組成物が、リガンド - ハプテン接合体を更に含むことを特徴とする組成物。

【請求項 1 8】

請求項 1 7 に記載の組成物において、前記ハプテン - 担体接合体による治療の第 1 週に前記リガンド - ハプテン接合体の投与を開始できることを特徴とする組成物。

【請求項 1 9】

請求項 1 7 に記載の組成物において、前記ハプテン - 担体接合体による治療の第 1 週に、又は、それ以降であって前記ハプテン - 担体接合体による治療の第 1 のサイクルが完了する前に、前記リガンド - ハプテン接合体の投与を開始できることを特徴とする組成物。

【請求項 2 0】

請求項 1 7 に記載の組成物において、該リガンドが、葉酸及び他の葉酸受容体に結合するリガンドからなる群より選択されることを特徴とする組成物。

【請求項 2 1】

請求項 1 6 ないし 2 0 のいずれか 1 項に記載の組成物において、該ハプテンが分子量 2 0 , 0 0 0 ダルトン未満の有機分子であることを特徴とする組成物。

【請求項 2 2】

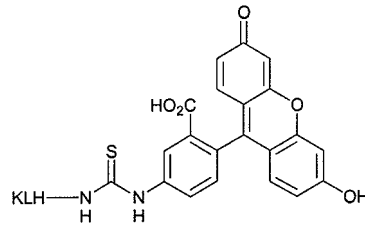
請求項 1 6 ないし 2 1 のいずれか 1 項に記載の組成物が、免疫刺激剤を更に含むことを特徴とする組成物。

【請求項 2 3】

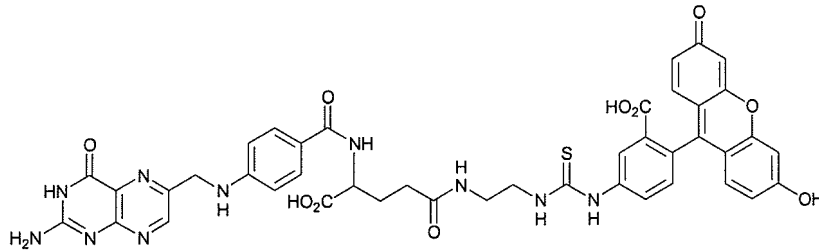
請求項 1 6 ないし 2 2 のいずれか 1 項に記載の組成物において、該アジュバントがキラヤサポニンアジュバントであることを特徴とする組成物。

【請求項 2 4】

請求項 1 6 ないし 2 3 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記ハプテン - 担体接合体が式：



で表され、KLHがキーホールリンペットヘモシニアンであり、前記リガンド - ハプテン接合体が式：



又はその薬学的に許容可能な塩で表されることを特徴とする組成物。

【請求項 2 5】

請求項 1 7 ないし 2 3 のいずれか 1 項に記載の組成物において、該リガンドは、グルタミル部位が前記リガンドのグルタミル - カルボキシル部位のみを介して該ハプテンに共有結合される葉酸類似体であることを特徴とする組成物。

【請求項 2 6】

請求項 1 7 ないし 2 3 のいずれか 1 項に記載の組成物において、該リガンドは、グルタミル部位が前記リガンドのグルタミル - カルボキシル部位のみを介して該ハプテンに共有結合される葉酸類似体であることを特徴とする組成物。

【請求項 2 7】

請求項 1 6 ないし 2 3、又は 2 5 若しくは 2 6 のいずれか 1 項に記載の組成物において、該ハプテンがフルオレセイン、ニトロフェニル又はポリニトロフェニルであることを特徴とする組成物。

【請求項 2 8】

請求項 2 2 ないし 2 7 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記免疫刺激剤がサイトカインであり、当該サイトカインが IFN - 又は IFN - と組み合わせた、IL - 2、IL - 1 2、IL - 1 5 又はこれらの組み合わせを含むことを特徴とする組成物。

【請求項 2 9】

請求項 1 6 ないし 2 8 のいずれか 1 項に記載の組成物において、前記アジュバントが修飾されたサポニンアジュバントであることを特徴とする組成物。

【請求項 3 0】

請求項 2 9 に記載の組成物において、前記アジュバントが GPI - 0 1 0 0 であることを特徴とする組成物。